

ど の し た 淵

【ボランティアの日 有難うございました】

7月16日は、ボランティアの日 第2弾。
早朝より青少年ふるさと美化活動によるごみ拾い。
8時30分からはグループ分けによる公民館及び周辺の
清掃活動と、半日ボランティア三昧でした。炎天下の
中、参加いただいた皆様ご苦労様でした。（延べ62名）
ヤングアダルト&ジュニアグループは高峯川とど
した淵。ウーマングループは公民館内外。シニアグル
ープはふれあい広場の除草を主に従事していただきまし
た。天候の回復とともに草木の繁茂は勢いを増し大盛
況でしたが、おかげさまでとてもスッキリなりまし
た。



5年度のテーマは『気づき・動き・紡ぐ』です。

発行責任者

高峯公民会長

三 腰 善 行

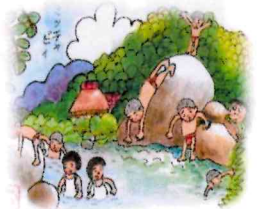
090-1089-9432

令和5年8月1日発行

川水浴場【どした淵】準備OK！

『さつまの日』毎月第3日曜日は家庭の日
にちなみ、16日午後からは近隣育成会にも
お声掛けし、SAP&バックラフト体験会
をどした淵で行いました。総勢20名程
度の保護者・子供たちが川水浴に興じまし
た。

今年は活性化委員会から簡易トイレをリ
ースして設置していただいたほか、公民会
員の御協力により、シンク（流し台）の設置
と飲料水を引くことが出来ました。いよいよ
川水浴場っぽくなってきましたよ。この
夏多くの皆様がきらら川で涼み、潤い、憩い
のひと時を過ごしてもらえたらいいな！！



だかね寺小屋 【西郷隆盛の人生訓】

小説家重門冬二「西郷隆盛の人生訓」抜粋

●屁理屈ばかりこねていて、実行できない者は、
剣術の見物人と同じだ

「昔の聖賢に学ぶものが、ただ、理屈だけ学ぶ
のは間違いだ。朱子も、いかに立派なことを言
っても、白刃を見て逃げる者は、どうにもなら
ない人間だと言っている。したがって、現場に
あっては、傍聴者であってはならない。理屈
を言う以上、必ず自分も実行できなければなら
ない。ちょうど、人の剣術の試合を見て、傍
目八目的に脇で色々意見を言っているが、そ
れじゃあ、お前が出てきて、今言った理論どお
りやってみろ、と言われた時に、逃げていくの
と同じことだ。卑怯の振る舞いと言うべきで
あって、やはり実行できないことは大きな口
をたたくべきではない」

●チャンスとまぐれは違う

「世の中の人には、チャンスが来たとはい
るが、それはまぐれの事が多い。本当のチャン
スというのは、理を尽くし、正しい道を行い、
勢いをつまびらかにして動くということが本
当なのだ。いつも、心の底に世の中を憂える誠
の心がなくて、ただの時のはずみに乗じて仕
事がうまくいったからといって、それは決し
てチャンスが来たのではない。単なるまぐれ
にすぎない。このへんを勘違いしている人が
多い」

【8月行事計画】

- 8月6日 さつま町夏祭り『熱笑祭』
- 8月15日 歴史ガイド講習会（泊野地区）
- 8月24日 さつま町人権フェスタ
- 8月下旬 役員会
- 8月の文書発送は3日のみです
- ◆資源ごみ 9・23日 ◆不燃ごみ 21日

- ◆地区の夏祭り情報（知り得ている情報のみ）
- 12日 神子
- 13日 求名・白男川
- 14日 平川



【9月行事計画】

- 9月1～7日 秋のあいさつこだま運動
- 9月3日 町民バレー
- 9月17日 ・町道・農道払い
- ・グラウンドゴルフ交流会
- 9月21～30日 秋の全国交通安全運動
- 9月の文書発送日は7・21日です。
- ◆資源ごみ 6・20日 ◆不燃ごみ 18日

※ 敬老祝賀会は自粛し、商品券配布の予定

【活性化委員会活動情報】

『きらら公園管理協議』

7月29日（土）きらら公園で、みずいろ電力・役場関係課を交えて、きらら公園の今後の管理について対話・討論する機会が設けられました。

町で検討されてきた「公の施設の管理の在り方」におけるきらら公園の方向性は、令和7年度までに譲渡若しくは廃止の判断をすることになっていきます。きらら公園はとても素晴らしいロケーションにあり、郷愁を誘う素敵な場所です。区民はもとより、地区外からの来園者を引き込む魅力ある公園として存続する方策を見出していきたいものです。



『ふるさと史跡マッピング事業』として、「現王様の腰掛石」と「轟の滝」の看板と、「田の神さ」の「のぼり旗」を製作し、地域の魅力発信に努めたいと思います。（あくまで事業費次第ですが）

8月には歴史ガイドの研修会が泊野で開催されるとの事なので、それまでにのぼり旗だけでも設置できたらいいなと思っています。



ふるさと回顧録

『泊野に生きて』 大阪府八尾市 久木野正志
第3章 秋（9月～11月）NO2

◆山芋堀い・・・学校から帰ると、かねてから目をつけていた場所にヤマングワを持って一目散。簡単には掘れない。だから終わりまで掘れたときは最高。ムカゴご飯も美味しかった。

◆運動会・・・10月第1日曜日ぐういだった。場所取りにゴザをもって早めに行くが上には上が。宮田からの入口に平野商店が店を出し、りんごや飲み物が並んだ。紫色（楠八重・市野）水色（久木野）白色（宮田・大平）赤色（高峯）の4色ハチマキと応援旗。大人の参加競技もあって、村挙げてのお祭り。最後は公民会対抗リレー。得点が競っており優勝旗争いが激しい時は、応援団が最高潮。「そろさばれ。うしとがきちよつど」焼酎が程よく進み、縄の仕切りを飛び出し、応援旗やてねげをふりながらランナーと5～6人並走。大人も子供も精一杯頑張り、休む間もなく稲刈りが始まる。

◆ワラこずん・・・脱穀が終わると田んぼに藁を丸く積み上げてしばらく保存しておく。子どもは遊びで登る。形がだんだん崩れる。大人から叱られた。

◆藁葺屋根・・・各集落で茅場があり、総出で萱刈。普請も村総出。鼻の穴がススで真っ黒。一旦帰り自宅で風呂を浴びてから御シヨユだった。

次号は 第4章冬・NO1をお届けします。

お楽しみに!!